

約400年前の窯や陶片が久々利で発見され、国宝の志野茶碗「銘 卯花塙」が焼かれた可児。ここでは、「美濃桃山陶の聖地 可児」の魅力と今年9月に開催される国際陶磁器フェスティバル美濃'21を紹介していきます。

世界が認める美濃の陶芸(前編)

美濃桃山陶が世界的に注目されるきっかけとなったのは、2003年にニューヨークのメトロポリタン美術館で開催された織部の企画展でした。そこには、荒川豊蔵資料館から「志野筍絵陶片」などが出品され、陶芸家 荒川豊蔵への関心も高まりました。

豊蔵の作品が世界中の美術品コレクターから高く支持されているのは、400年前の技と美の追求にとどまらず、独自の解釈を取り入れた造形美を生み、現代陶芸の礎となった点にあるといえるでしょう。

今年3月から5月にメトロポリタン美術館近くのギャラリーで開催された展示会「魯山人とそのライバルたち」でも、豊蔵作品が紹介されました(右記写真)。美濃桃山陶の聖地で生まれたやきものは、時代や国境を越えて人々を魅了しているのです。



日本の現代陶芸作品を紹介しているギャラリー(ニューヨーク州マンハッタン)



豊蔵作品とギャラリーオーナーのマービスさん

写真提供:ジョンB マービス リミテッド

国際陶磁器フェスティバル美濃'21
INTERNATIONAL CERAMICS FESTIVAL MINO'21, JAPAN
開催期間 9/17 ~ 10/17 会場 セラミックパークMINO、荒川豊蔵資料館 他

問 国際陶磁器フェスティバル
美濃実行委員会事務局
☎0572⑤4111



イベント紹介① アール・ブリュット美濃展 (9/17 ~ 29)

「アール・ブリュット」とは、フランス語で「生の芸術」という意味です。心身に障がいのある人たちが、自分の内側にあるものを思いのままに、陶芸や絵画、書などを通じて表現した芸術作品が並びます。ぜひご覧ください。



前回作品の1つ

イベント紹介② お茶会に行こう (9/17 ~ 10/17の毎週土・日曜日)

水辺に浮かぶ茶室「懸舟庵」で、志野・織部などの茶碗を使用した本格的な茶会を開催します。また、気軽に楽しめる煎茶の呈茶サービスの日もあります。歴史ある美濃焼で伝統文化の茶道をじっくりとお楽しみください。



懸舟庵(セラミックパークMINO内)

お得な7館共通前売り入場券(1,200円)を7/5(月)から販売します。詳細はHPをご覧ください。
販売場所:セラミックパークMINO、コンビニエンスストア 他